

あ な た と の 絆



春日井

平成 27 年 6 月 1 日
2015 年 No.1564
Kasugai Public Relation

特集

「暮らしやすい」を日常に
Da Monde 春日井

新緑の三ツ又ふれあい公園

「暮らしやすい」を日常に

だもんで Da Monde 春日井



問い合わせ: 広報広聴課 (☎85-6037)

皆さんは、自分の住むまちへの愛着や誇り(シビック・プライド)を感じていますか。近年、世界中の都市でシビック・プライドを高めようという動きが活発になっています。6月1日の市制記念日にちなみ、今回は、まちの皆さんにインタビューした春日井への思いを紹介するとともに、皆さんにもっと春日井を好きになってもらうために市が行っている取り組みを紹介します。

シビック・プライドを高めたい

シビック・プライドは、住民が住んでいるまちに対してもつ愛着や誇りのことで、19世紀のイギリスで生まれた概念といわれています。当時イギリスは産業革命による機械化により、農民が都市へ急激に流入しました。その中で、都市に住む人々による、自分たちで新しい都市を作るという高揚

感と都市間での労働力人口の奪い合いから、シビック・プライドは生まれたのです。今、日本は人口減少、超高齢社会を迎え、当時のイギリスと逆の理由で都市間競争が生まれようとしています。その中で、シビック・プライドを高めることはこれからの市の重要課題であると考えています。

調査から見る春日井への愛着と誇り

市民の皆さんは、春日井にどれくらい愛着を感じているのでしょうか。今年2月に行った市民意識調査では、多くの皆さんが、「今後も暮らしたい」と答え、その理由として「住みなれていて愛着

がある」が1位でした。この数値は、前回の平成23年、前々回の平成18年と比べ、上昇しています。しかし、市に魅力や誇りを感じていると答えた人は66%にとどまっています。

①

今後も春日井市で暮らしたいと思えますか？

	今後も暮らしたい	暮らしたいとは思わない	無回答
H27	90.1		9.0
H23	88.6		10.4
H18	86.2		12.9

②

春日井市で暮らしたいと思う理由は何ですか？



③

春日井市に魅力や誇りを感じますか？

	感じる	ある程度感じる	あまり感じない	感じない	無回答
H27	7.9	58.3	25.0	3.3	
H23	6.5	57.3	26.7	4.2	
H18	8.1	55.8	31.3	3.7	

だもんで、「Da Monde 春日井」始めました

市は、春日井のさまざまな魅力をもっと知ってもらい、皆さんに愛されるまちにしていきたい、皆さんにずっとこのまちで暮らしてもらいたいと思っています。その思いを形にしたのが「Da Monde 春日井」です。Da Monde(だもんで)はこの地方の方言で「~だから」という意味の「~だもんで」をもじって付けました。



市ホームページで魅力を発信

「Da Monde 春日井」は、市ホームページの中に作った春日井の魅力を発信するための特設ページです。ページの中では、「まちと自然がちょうどいい」「都心へ好アクセス」「子はかすがい、子育ては春日井」といったキーワードでまちの魅力を紹介しています。

全国広報コンクールで入選しました

この特設ページを含んだ市ホームページが、(公社)日本広報協会の主催する全国広報コンクールで入選(市の部)となりました。「Da Monde 春日井」をはじめとする特設ページや広報誌の特集の内容をホームページでも見やすく表示したことが評価されました。



市シビック・プライド 向上委員会

市シビック・プライド向上委員会は、春日井の魅力を発信するため活動している、市の若手職員によるプロジェクトチームです。「Da Monde 春日井」の企画・取材や、昨年11月17日に導入

された自動車の春日井ナンバーのPR動画「Life with 春日井ナンバー」の企画・制作を行いました。今後も春日井の魅力を発信するため、さまざまな取り組みを考えていきます。

教えて、あなたの「～だもんで、春日井が好き」

市内のあちこちで、皆さんの「～だから、春日井が好き」という思いを聞いてきました。好きな理由は十人十色。あなたは何に魅力を感じて暮らしていますか。



安全、安心を守る団体や仲間がいるまち

(子ども応援団副代表 酒井治巳さん)

朝、通学路に立ち始めて6年になります。きっかけは、病気でした。定年退職後にがんが見つかり、療養しました。病も癒えたころ、地域のために何かできないかと考えていたときに、子ども応援団に誘われました。雨の日や暑い日など、立っているのが大変なときもありますが、たくさんの仲間や子どもたちの顔を見ると元気がもらえますし、朝の習慣は自分の健康のためにもなります。お母さんたちに「ありがとう」と言っていたいたり、卒業した子どもたちが会いに来てくれたときは、本当にうれしかったです。市内には、他にもたくさんの人たちが日々の安全や安心を守るために活動しています。こうした市民活動が盛んで、互いに顔が見えるまち、そんな春日井が大好きです。

Da Monde
01



あたたかいまち

(託児ボランティア 加賀美貴子さん)

転勤族で今までいろいろなところで生活してきましたが、その中でも春日井は人が温かくて、伸び伸びと子育てができました。今は、その恩返しの気持ちも込めて、母親がリラックスした時間を過ごせるための手助けになればと、さんさんルームで託児ボランティアとして活動しています。

Da Monde
02



心の居場所を感じられるまち

(学習教室「きみいろ」で指導する中部大学4年 茅野みづ希さん)

「きみいろ」は、生活が困窮する世帯の子どもたちに、貧困の連鎖を断ち切るため、勉強の面でサポートする場所です。ただ勉強を教える、教えられるだけの関係ではなく、イベントも行い、子どもの心の居場所を提供する役目もあります。「きみいろ」を通じて、大好きな春日井に少しでも貢献できればと考えています。

Da Monde
03

戻って見たら 良いところが見えてきた

(春日井の名店としてカップラーメンにもなった「らーめん考房ありがた屋」店主 牧野公豪さん)

生まれは春日井ですが、山梨の学校へ進み、就職したので、10年近く春日井を離れていました。その後、結婚して親元に戻り、今の店を開きました。

独身時代は、正直、春日井は何もないまちだと思っていました。しかし、春日井に戻り、子どもができると、見えていなかったただだったことに気がきました。例えば、落合公園に子どもと一緒にいくと、今まで気付かなかった遊具がたくさんありました。実は知らなかっただけで、とても住みやすく、魅力があるまちでした。春日井まつりでのラーメン横丁も、最初は気が進みませんでした。市内の他のラーメン店と互いに刺激を受けながら、本物の味にこだわって提供しています。思い切って飛び込んでみたことで、多くの縁ができました。春日井で育ち、そして今、春日井にいる、そのことを大切に進んでいきたいです。

Da Monde
04



Da Monde
05



豊かな自然を 感じられるまち

(キャンプカウンセラーサークル「みろく会」 櫻井梨子さん)

キャンプファイアなどの野外活動を通じて、知らない人同士が一体となるのが魅力で、子どもたちと野外活動をするサークルに入っています。東部丘陵は、都市部に近いのに自然が豊かで、星もたくさん見える場所。身近で自然に親しめるまち、だから好きです。

Da Monde
06



安心子育て

(赤ちゃんのためのおはなし会に参加していた福井舞さん、暁士くん)

春日井に引っ越してきて、病院や子育て関係の施設が充実していることに驚きました。子育て講座や催しも多く、保健師さんなどにアドバイスがもらえるし、ママ友もできるし、安心して子育てができるところが好きです。

Da Monde
07



みんなが春日井を盛り上げる

(春日井をイメージしたLINEスタンプのイラストを描いた近藤しおりさん)

春日井商業高校在学時にLINEスタンプ「ハルシヨッピーと愉快的仲間たち」を制作する課題に取り組みました。制作を通じて、さまざまな人と交流する機会があり、皆さんが春日井を盛り上げるためにいろいろな努力や活動をしていることを知りうれしく思いました。たくさんの人にスタンプを利用してもらい、春日井を好きになってもらいたいです。



内田朋代さん

河野弓子さん

子育てに共感してくれる すてきな団体が集うまち

(NPO法人あいち かすがいっこ代表 内田朋代さん)

10年前に結婚し、関東から春日井に住み始めました。近くに友人はおらず、土地勘もないので引きこもってしまいました。しかし、かすがいげんきっ子センターの親子教室に初めて参加し、ママ友ができたことをきっかけに、外に出るようになり、自分でママサークルを立ち上げました。

子育て中の母親たちのつながりを深めるため企画した「ママの文化祭」を通して、企業や商店街、サークルなど、子育て支援を応援したいと考えている個性あふれる団体がたくさん活動していることが分かりました。そんな魅力的な人たちがこのまちにはたくさんいることを発信し、「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクトなどに協力して、地域に密着した子育て支援を目指します。

春日井で育った子どもたちが、まちを誇りに思えるように活動していきたいと考えています。

Da Monde 08

子育てに ぴったりのまちを 自分たちの手で

(NPO法人あっとわん代表理事
河野弓子さん)

結婚を機に、春日井へ越してきました。当時は若い母親が多く、情報も少なくてどう子育てしたら良いかが分からずにいました。そこで、母親が元気になれるような支援をしたくて、団体を設立しました。

春日井は子育て支援が充実していると言われる。しかし、行政は育児に不安のある人を助けてあげよう、という目線の子育て支援に偏りがち。本当は能力も高く、強い人も多いのです。そんな母親たちの技術を役立て、ステップアップできるよう、社会の仕組みを知ることから始まる「ソーシャルプランナー育成支援講座」を開講するなどの活動を行っています。

春日井は緑が多く、子育てする環境はすごくいい。自分たちが住むまちなものだから、これからも活動を通じてより良いまちにしていけたらと思っています。

Da Monde 10



移動が便利で 練習しやすいまち

(競輪選手 高橋和也さん)

中学生のときに引っ越してきた玉野台は、道幅が広く、坂が多くて交通量が少ない道路があり、自転車の練習がしやすい環境でした。結婚して新居を探すときも、交通の便が良く、夜静かで練習場所も近い春日井を選びました。住みやすいまちだから好きです。

だもんで、 まちの魅力を 発信してみませんか

「Da Monde 春日井」の
ロゴで市の魅力を
一緒に発信してみませんか

「Da Monde 春日井」の活動に賛同する企業や団体の作成する広告やポスター、ホームページなどにロゴマークを掲載してもらうことで市の魅力をもっと広めていきます。



【申し込み】 申請書(広報広聴課、市ホームページに用意)に記入して、直接、広報広聴課へ



春日井みつけ隊に参加してみませんか

市では、皆さんが感じる春日井の魅力を発信していただけるよう、一昨年から市公認フェイスブックページ「春日井みつけ隊」を開設しています。あなたが思う春日井に関する身近な出来事や話題をフェイスブックに投稿してみませんか。

【参加方法】

「春日井みつけ隊」入隊申込書(広報広聴課、市ホームページに用意)に記入して、直接か郵送、ファクス、Eメールで、〒486-8686春日井市広報広聴課(FAX 84-7421、Eメール koho@city.kasugai.lg.jp)へ

「いいね！」でやる気を出しています

春日井シニアネット 中村哲久さん

昨年、市内の桜開花情報を春日井みつけ隊に投稿しています。市内12か所を13人で手分けして撮影し、つぼみから葉桜になるまで毎日投稿していました。今年は雨が多く、やきもきする天気でしたが、写真を見た多くの人から「いいね！」をいただけたのでとてもやりがいがありました。桜は散ってしまいましたが、今後もシニアネットのメンバーと市内の魅力ある風景を皆さんに届けたいと思っています。



6月1日から

かすがい健康マイレージ

が始まります

問い合わせ 健康増進課 (☎85-6166)

「かすがい健康マイレージ」は、食事や運動などの生活習慣を改善する取り組みや、健診（検診）の受診、健康講座などへの参加で、マイレージ（ポイント）をためて、楽しみながら健康づくりができる事業です。皆さんが自分に合った健康づくりを始めるきっかけとして、ぜひ参加してみませんか。

対象	小学生以上の市内在住か在勤、在学の人
チャレンジ期間	6か月間

スタートはいつでもOK

1 100ポイント以上ためる (ポイントは自己申告制)

チャレンジポイント

自分に合った健康づくり (チャレンジメニュー) に取り組む

チャレンジメニューの例

- 毎食、野菜を食べる
- 1日「8000歩」歩く
- 毎日、体重を量る
- 毎食後、歯を磨く
- 禁煙にチャレンジする



ボーナスポイント

特定健診やがん検診などを受診する



健康づくりに関する講座・イベントなどに参加する



ポイントを記録するためのチャレンジシートの配布場所は、健康増進課、総合保健医療センター、保健センター、坂下出張所、東部市民センター、各ふれあいセンター、各公民館です（市ホームページからもダウンロード可）。

2 優待カード (まいか) をもらう

チャレンジシートを健康増進課窓口などの配布場所へ提出すると、「あいち健康づくり応援カード! ~MyCa~ (まいか)」がもらえます。※有効期限は交付日から1年間



3 協力店でつかう

協力店で「まいか」を提示すると、さまざまなサービスが受けられます。協力店やサービス内容は県ホームページを見てください。



あいち健康マイレージ

検索

※「かすがい健康マイレージ」は県との協働実施事業です。



市制72周年記念式典で表彰

(秘書課 ☎ 85 - 6016)

6月1日(月)の市制72周年記念式典において、多年にわたり功績のあった次の皆さんを表彰します(敬称略)。

市政功労者表彰



梶田晃男、後藤正夫、内藤富江、長谷川健二

一般表彰



地方自治の進展：西村英文

教育の振興：水田博和、森乙平

文化の振興：伊藤滋、磯部美子

社会教育の振興：横井広美

体育の振興：青木幹三、酒井裕

農業の振興：稲垣勝、稲垣利正

産業の振興：下田秋吉、川村陽一

社会福祉の向上：浅井敦臣、長谷川久美子、鈴木美恵子、野村洋子、加藤大透、林京子、藤谷あつ子、西瀬古初子、馬上貴美子、金子玲子、小野田智子、池田恭子、向畑倫子、落合逸男、山田文雄、伊藤春明、浅井順子

保健衛生の向上：井上義基、野尻修、堀田茂樹、鳥山和彦、宮内和子

防災活動の推進：入谷友幸

交通安全の推進：松田保夫、伊藤弘、青山宗平

公益寄附：山口昭一(由起)、森淑子、(株)協和コーポレーション、(株)ベストック

環境保全の推進：寺井久慈

ボランティア活動の推進：高森台たんぽぽの会、春日井仲間女

環境美化の推進：牛山地区コミュニティ推進協議会

永年勤続表彰



教育委員会委員：1人

市職員：18人

教職員：3人

産業従事者：91人



平成28年4月1日採用の市職員を募集

(人事課 ☎ 85 - 6021)

職種	採用人数
事務職(一般事務)	18人程度
事務職(身体障がい者)	2人程度
事務職(社会福祉士)	4人程度
技術職(土木)	4人程度
技術職(建築)	3人程度

職種	採用人数
技術職(化学)	1人程度
技術職(機械)	1人程度
技術職(電気)	1人程度
保育職1	30人程度
保育職2	3人程度

職種	採用人数
消防職	13人程度
消防職(救急救命士)	5人程度
栄養士	1人程度
保健師	1人程度
民間事務職(一般事務)	2人程度

試験	○第1次…7月26日(日) ○第2次…8月下旬～10月中旬に予定 ※詳細は市ホームページ掲載の募集要項を見てください。
受験申込書	人事課、市ホームページ、坂下出張所、東部市民センター、各ふれあいセンターに用意 ※郵送の場合は「受験申込書の請求」と朱書した封筒に、返信用封筒(角2サイズに、住所、氏名を書いて120円分の切手を貼ったもの)を同封して人事課へ
申し込み	【持参】 6月1日(月)～30日(火)〈土・日曜日を除く〉午前8時30分～午後5時に、人事課へ 【電子申請】 6月1日(月)午前9時～26日(金)午後5時に、市ホームページから 【郵送】 6月24日(水)〈消印有効〉までに、人事課へ
郵送・問い合わせ	〒486-8686春日井市人事課(☎85-6021)



市議会の議長と副議長が決まりました

(議事課 ☎ 85 - 6492)

5月15日(金)に開かれた市議会臨時会で、議長と副議長の選挙が行われ、議長に水谷忠成議員、副議長に長縄典夫議員が選ばれました。



水谷忠成議長



長縄典夫副議長

お知らせ



敬老会の地域開催に補助金を交付

高齢福祉課(☎85-6176)

対 区・町内会や自治会、地区社会福祉協議会など
内 高齢者の長寿を祝い、地域の皆さんの敬老意識の高揚を図るために行う

補助金額：行事に掛かった費用のうち、下の表の金額を限度として交付

世帯数	金額
100世帯まで	2万円
101～300世帯	3万円
301～500世帯	5万円
501～1000世帯	7万円
1001～2000世帯	12万円
2001～3000世帯	20万円
3001世帯以上	30万円

申 9月30日(水)までに、申請書(高齢福祉課、市ホームページに用意)に記入して、それぞれの団体の代表者が直接、高齢福祉課へ

土地区画整理事業の事業計画の縦覧

都市整備課(☎85-6307)

事業名：春日井西部第一土地区画整理事業

時 6月3日(水)～16日(火)〈毎日〉午前8時30分～午後5時15分

※ この計画についての意見書は、6月3日(水)～30日(火)に、市長宛てに提出することが可能

6月4日～10日は歯と口の健康週間です 健康増進課(☎85-6166)

普段の手入りにプラスワン

虫歯や歯周病の予防には、歯ブラシによる清掃は有効な方法ですが、それだけでは十分ではありません。デンタルフロスや歯間ブラシといった歯間部清掃用具を併用することで、歯間部の汚れの除去効果がアップします。健康な口を保ちましょう。

6月7日～13日は危険物安全週間です 予防課(☎85-6387)

ガソリン・軽油・灯油は、使い方を誤ると大変危険です。保管する際は、次のことを守りましょう。

保管方法：ガソリン・軽油は金属容器、灯油はポリ容器に入れ、必要最小限の量を風通しの良い、日の当たらない場所で保管しましょう。

会議の公開

教育総務課(☎85-6436)

◆教育委員会定例会の公開

時 6月17日(水)午後1時30分から

場 市役所教育委員会室

定 10人(先着順)

申 当日午後1時から、教育総務課へ

◆総合教育会議の公開

時 6月17日(水)午後3時から

場 市役所教育委員会室

定 10人(先着順)

申 当日午後2時30分から、教育総務課へ

松河戸土地区画整理事業保留地の分譲 都市整備課(☎85-6306)

一般競争入札

整理番号	画地番号	地積(m)	最低売却価格(円)
⑤	86-1	752.81	5871万9180
⑱	42-6-2	151.74	1001万4840
⑲	42-14	383.74	2609万4320
⑳	76-1-10	177.31	1879万4860

時 7月16日(木)⑤午前10時から⑱午前10時15分から⑲午前10時30分から⑳午前10時45分から

場 市役所入札室

保証金: 各30万円(入札後、銀行振り込みで返金)

申 7月6日(月)～10日(金)午前8時30分～午後4時30分に、パンフレット(市の主な公共施設に用意)に添付の申込書に記入し、保証金を添えて、都市整備課へ

新築・増築・改築など家屋の実地調査 資産税課(☎85-6105)

平成27年1月2日～28年1月1日に新築・増築・改築された家屋は、平成28年度から固定資産税の課税対象となります。家屋の構造や使用材料などを確認するため、身分証を持った資産税課職員が訪問し、実地調査を行います。「建築確認済通知書(建築図面等)」「工事見積書」などを見せていただきますので協力をお願いします。なお、改築は主要構造部を大規模に更新された家屋が調査対象となります。

調査の日時を指定したいとき、増築・改築や取り壊しをした家屋があるときは、連絡してください。

桃とぶどうの直売所ガイドマップを発行 農政課(☎85-6236)

配布場所: 市役所情報コーナー、坂下出張所、東部市民センター、各ふれあいセンター、各公民館、総合体育館 ※市ホームページからもダウンロード可

カラカラで
蛇口に飛び込む
僕の口



6月1日～7日は水道週間

6月は環境月間です 環境政策課(☎85-6216)

私たちの暮らしは地球温暖化やごみ問題など、地球環境と深く関わっています。この機会に一人一人が環境について考え、春日井の環境のためにクールビズ、緑のカーテン、エコドライブなど、できることから始めましょう。

6月は食育月間「めざせ野菜1日350g」 健康増進課(☎85-6166)

健康のために、成人は野菜を1日350g以上食べることが必要と考えられていますが、県の野菜摂取量は全国最下位で約240g/日(平成24年国民健康・栄養調査より)です。目標よりも約110g不足しています。



野菜100gの目安は小皿1つ分、トマトなら半分です。野菜は加熱調理することで、かさが減り、たくさん食べることができます。意識して野菜を取るようにしましょう。

催し



日曜シネマ「怪しい彼女」 かすがい市民文化財団(☎85-6868)

時 6月14日(日)午前10時15分から、午後1時45分から、午後4時45分から(上映前に職員による15分間のミニトークあり)

場 文化フォーラム春日井

内 心のこもった歌声で人々を魅了する毒舌娘オ・ドゥリの秘密とは…。笑って泣ける人生賛歌の物語(韓国映画・日本語字幕)

入場料: 900円、ペア1700円(当日1000円、ペア1900円。前売り完売の場合、当日券なし)
※時間指定、全自由席、3歳以上有料

入場券: 文化フォーラム春日井で販売中 ※電話・インターネット(<http://www.kasugai-bunka.jp>)予約もあり



市民公開講座「前立腺がんと放射線治療」 市民病院管理課(☎57-0057)

- 時** 6月13日(土)①午後1時～2時②午後2時～3時30分
- 場** 総合保健医療センター
- 内** ①健康チェック(血糖・血圧)、尿もれ相談②講演「よくわかる前立腺がんのはなし」市民病院泌尿器科医長・春日井震、「当院の放射線治療とトモセラピーについて」市民病院放射線科医長・小崎桂
- 定** ②200人(当日先着順)

ニュータウンきずな事業 どんぐり東部公民館まつり 東部市民センター(☎92-8511)

- クラブ作品展**
- 時** 6月20日(土)～21日(日)午前9時～午後5時(21日は4時まで)
- 煎茶(せんちゃ)会**
- 時** 6月21日(日)午前10時～午後3時
- 呈茶券：500円 ※6月5日(金)から東部市民センターで販売
- クラブ芸能発表会**
- 時** 6月21日(日)午前11時～午後4時 ※ゲスト出演…社会人落語家・若鯨亭笑天ほか
- のぞいてみよう！絵本に出てくるちょっとしたおばけの世界**
- 時** 6月21日(日)午後2時～3時30分
- 内** 絵本の読み聞かせ、工作などで遊ぶ子ども向けの催し

地域づくり推進大会 市民活動推進課内、市区長町内会長連合会事務局(☎85-6617)

- 時** 6月21日(日)午後1時30分から(1時開場)
- 場** レディヤンかすがい
- 内** ○押沢台北町内会の活動事例発表○講演「なぜ協働か～今後の地域活動団体の役割～」四日市大学副学長総合政策学部教授・岩崎恭典

6月は特定健診普及啓発強化月間

生活習慣病の
早期発見・予防のために、
年に一度健診を受けましょう

問い合わせ：
保険医療年金課(☎85-6367)



キエフ・クラシック・バレエチャイコフスキー-3大バレエハイライト かすがい市民文化財団(☎85-6868)

- 時** 8月1日(土)午後3時から
- 場** 市民会館
- 内** バレエの名作「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠りの森の美女」のハイライトを上演 ※託児あり(有料・要事前申し込み)
- 入場料**：6500円(全席指定、3歳以下入場不可)
- 先行予約**：6月10日(水)午前10時～11日(木)午後5時に、かすがい市民文化財団ホームページ(<http://www.kasugai-bunka.jp>)へ
- 入場券**：6月13日(土)から、文化フォーラム春日井、チケットぴあ、ローソンチケットで販売
※電話・インターネット予約もあり

子どもとおとなのための読み聞かせ「お話の森」 かすがい市民文化財団(☎85-6868)

- 時** 8月9日(日)午後1時から、午後4時から
- 場** 文化フォーラム春日井
- 内** オフロスキー役で大人気の俳優・小林顕作による親子で楽しめる絵本の読み聞かせ ※託児あり(有料・要事前申し込み)
- 入場料**：大人2500円、子ども1000円(全自由席、4歳未満入場不可)
- 入場券**：6月27日(土)から、文化フォーラム春日井、チケットぴあで販売 ※電話・インターネット(<http://www.kasugai-bunka.jp>)予約もあり

募集



子どもの家の夏休み限定利用者

- 時** 7月18日(土)～8月31日(月)午前8時～午後7時(日曜日、祝日を除く)
- 対** 昼間、仕事などで月～土曜日の間に1日以上保護者が家庭にいない小学生
- 定** 若干名 ※募集施設は市のホームページを見るか問い合わせてください。
- 費** 午後5時まで6892円、6時まで8315円、7時まで9738円 ※別途おやつ代など(4500円程度)が必要
- 申** 6月1日(月)～6日(土)の午前11時30分～午後7時(土曜日は午前8時から)に希望する子どもの家に申請書類を取りに行き、面接日時の予約をしてください。13日(土)〈日曜日を除く〉までに申請書類に記入して、就労証明書(勤務先の証明が必要)などを添えて、各子どもの家へ
- 問い合わせ**：牛山・西部・玉川子どもの家は学童保育所イルカクラブ(☎34-8457)、それ以外は市社会福祉協議会(☎84-3241)

魅せます！
**春日井
広報大使**

春日井の魅力を市内外に発信するため、昨年4月に任命した春日井広報大使。大使自身の魅力を紹介してきたこのコーナー、最終回は北京オリンピックシンクロナイズドスイミング日本代表の松村亜矢子さんです。

北京オリンピック
シンクロナイズドスイミング日本代表
初代かすがい「人・夢創り」文化・スポーツ大使

松村 亜矢子

Matsumura Ayako



●プロフィール

平成17～20年、シンクロナイズドスイミングの日本代表として活躍。世界選手権やワールドカップで数々のメダルを獲得し、北京オリンピックに出場。初代かすがい「人・夢創り」文化・スポーツ大使も務め、4月から中部大学全学共通教育部講師。

とにかく楽しくスポーツや健康づくりを

指導者を目指して大学院へ

昨年は、転機の年となりました。広報大使に就任したこともあります。それまで、中京大学の教務課で5年間、学生の指導をしているうちに、春日井で指導者の道に進みたいと考え、早稲田大学院の健康マネジメントコースに進学し、1年間勉強しました。

高齢社会の中、ウォーキングや体操など健康づくりのための運動は、種類は豊富でも継続できる運動は少なかった。シンクロの動きを取り入れつつ、誰でもできる運動プログラムの開発と指導方法を研究しました。

いつまでも、元気で動ける体操を

運動プログラムの1つとして、シンクロの動きを取り入れた「水中運動」の講座を、春日井市と大学院のある所



沢市で行いました。すると、シンクロの特長である周りの人と動きを合わせて動くことに楽しみを感じてもらえたようで、受講者たちが自主的に集まって運動するサークルもできました。今後も、気軽に楽しめる運動プログラムを考え、市民の皆さんに広めていきたいと思っています。

大学講師として、大使として

4月からは中部大学で講師として、大学生に実技も含めた一般的な運動の講義を行っています。大学生ともなると、クラブ活動をしていない限り、日常的に運動をする機会が減ってしまいます。そのため、若いうちから、運動の楽しさを知ってもらいたいと思っています。また、これまで教えてきた小中学生向けのシンクロ講座も、引き続き取り組んでいきます。

広報大使として、トップアスリートを目指す人にも、健康づくりを目的としている人にも、とにかく楽しく運動ができるように、これまで学んだことを、春日井から発信していきたいと思っています。



写真で見る かすがい

4/29(祝) 自然とのふれあい
～5/6(休) (グリーンピア春日井など)

東部丘陵の豊かな自然の中でさまざまな催しを開催した「緑と花のフェスティバル」。オープニングイベント「ウォーク大会」では、晴天の下、約1300人が参加し、新緑あふれる森の中での散策を楽しみました。

6日には春日井広報大使の馬場淳史さんの「風薫る津軽三味線ライブ」が開催され、多くの人を魅了しました。



5/10
(日)

楽しく元気に
輝く笑顔大集合
(落合公園など)

五月晴れの空の下、「わいわいカーニバル KASUGAI」を開催し、子どもたちや家族連れが綱引きや立体パズル、巨大トンネル迷路など、さまざまな催しを楽しみました。

春日井広報大使のタクマさんによるマジックショーやマジック教室も行われ、巧みな話術と鮮やかな演出に感嘆の声が上がりました。



創 春日井
2015 想



市長 伊藤 太

土に親しむ

今年もゴールデンウィークに夏野菜を植えました。ナス、キュウリ、ピーマンにトマトなど。3坪ほどの土地ですが、これから草との戦いが始まります。植えるだけで、水を小まめにやる以外特別なことをするわけではありませんが、自分で育てた新鮮な野菜の収穫は楽しみであります。

気軽に野菜作りを楽しめる庄内川河川敷の市民菜園や、市内各地にある市民農園も、根強い人気があります。また初めて野菜作りをする方の支援や新たな農業の担い手の育成をするため、JA尾張中央の協力で行っております農業塾も応募者が多数あり、卒業された方にもアドバイザーとなっていただきました。畑を耕し土に親しみ、花や野菜を作ることはブームのようでもあります。

今年の新たな取り組みとして、小さなお子さんを持つ家族から高齢の方まで幅広い世代が楽しみ、農への親しみを深めることができる、大型の市民農園についても検討していきたいと考えております。

環境と人にやさしい春日井市の、大きな流れになればと期待をしております。

休日・平日夜間急病診療所

場所	総合保健医療センター(鷹来町1)	☎84-3060
----	------------------	----------

診療科目	診療時間		
	平日夜間	土曜日	日・祝休日
内科・小児科	21:00～23:30	18:00～21:00	9:00～12:00、 13:00～17:00、 18:00～21:00
外科	—	—	18:00～21:00
歯科	—	—	9:00～12:00

○受け付けは、いずれも終了30分前まで、保険証、受給者証、現金などが必要です。
○薬は原則1日分しか出ませんので、翌日以降にかかりつけ医か専門医を受診してください。
○夜間の子どもの急病時、受診を迷った場合は、県小児救急電話相談(毎日19:00～翌8:00、☎#8000(短縮番号)か052-962-9900)へ
○かかりつけ医や休日・平日夜間急病診療所などで受診できない場合や受診先が分からない場合は、県救急医療情報センター(☎81-1133)へ

日曜日・平日時間外の市役所業務

業務を行っている課	業務内容	月日	時間
市民課 ☎85-6136	戸籍届、住民異動届、印鑑登録、住民票などの証明書の発行	6/7、 14、28	8:30～12:00、 13:00～17:00
市民税課 ☎85-6093	所得、課税、非課税、扶養、事業所の各証明書の発行		
保険医療年金課 ☎85-6156	国民健康保険加入・喪失の届け出	6/28	9:00～12:00、 13:00～16:00
収納課 ☎85-6111	納付・納税相談		

毎週水曜日(祝休日、年末年始を除く)は、収納課19時まで、市民課19時30分まで上記の業務を行っています。取り扱い業務など詳しくは問い合わせてください。

市税等の納期限

- ・市民税・県民税1期
- ・国民健康保険税1期

納期限▶6月30日(火)

最寄りの金融機関やコンビニエンスストア、インターネットの「Yahoo! 公金支払い」で納付してください。

火災情報 ☎0180-995-999

まちの動き

人口	31万0972人	(+723)
世帯数	13万1112世帯	(+1467)
平成27年5月1日現在()内は前年同日比		
救急件数	1070件	(4511件)
火災発生件数	10件	(37件)
交通事故死亡者数	1人	(4人)
平成27年4月()内は1月からの累計		

水道修繕

公道

平日 8:30～17:15

水道工務課 ☎85-6420

土・日曜日、祝休日、夜間

市役所守衛室 ☎81-5111

宅地内(有料)

管工事業協同組合(☎83-8288)
か市指定給水装置工事事業者
※アパート、マンションなどは、事前に管理者へ

妙慶(みょうけい)
妙慶新田は寛保二年(二七四二)の縄入れにより村高四十二石七升五合で一村立ちました。この新田の四至は、東は下条新田、南は与吉新田、西は勝川村、北は稲口新田となっています。
弘化二年(一八四五)の村絵図を見ると、定納山を切り開いて畑と屋敷地を設けた様子がよく分かります。定納山とは定められた年貢を払って農民が開墾できた山林です。幕末ごろの戸数は二十軒、人口は九十一人の小さな村でした。
妙慶の地名の由来について、「尾張御行記」によれば、「この新田は元納屋町(名古屋城下)に住んでいた妙慶という後家が所有していました。その後、妙慶の姪が海保七兵衛へ嫁いでこの新田を譲り受け、七兵衛の所有となりました。やがて時が過ぎ、農民の所有となりました」とあります。

春日井の地名物語



61